

第3次穴栗市健康増進計画・
第2次穴栗市食育推進計画策定のための
基礎調査報告書

平成30年3月

穴 栗 市

目 次

第1節	人口等の推移.....	1
第2節	健康寿命.....	6
第3節	出生に関する統計.....	7
第4節	死亡に関する統計.....	9
第5節	各種健（検）診の実施状況.....	12
第6節	母子保健の状況.....	20

第1節 人口等の推移

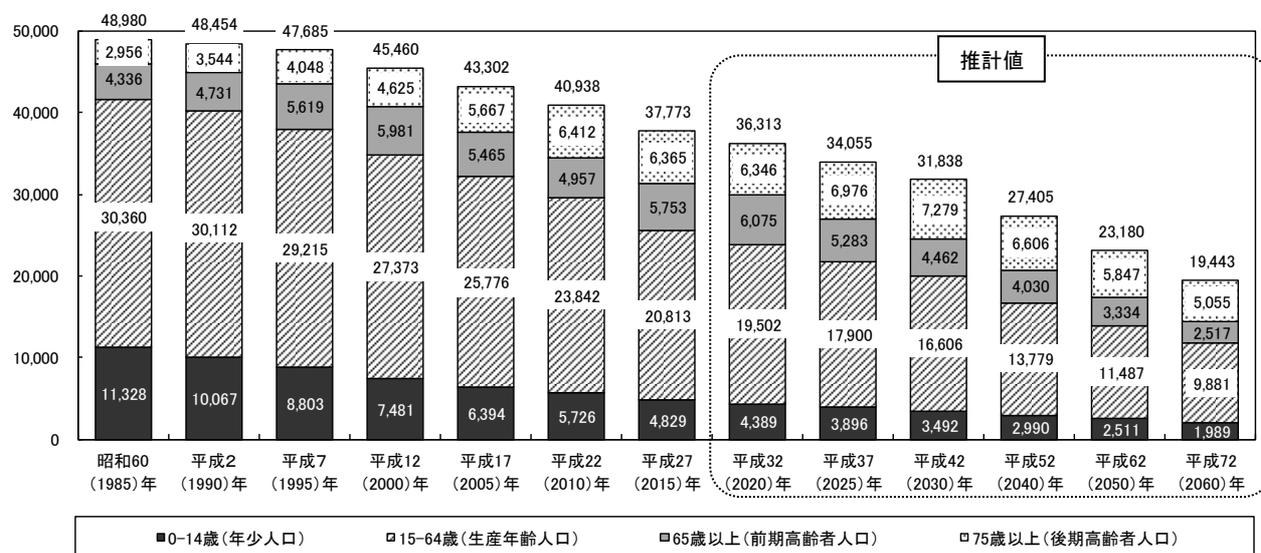
1. 総人口の推移と将来推計

宍粟市の総人口は減少を続けており、平成27年では37,773人と、昭和60（1985）年から30年間で22.9%の減少となっています。特に、年少人口（0～14歳）及び生産年齢人口（15～64歳）が大きく減少しています。

将来推計をみると、今後も人口は減少し続け、平成72（2060）年には19,433人と、平成27年のほぼ半数まで減少することが予測されます。

■宍粟市の人口推移と将来推計

(人)

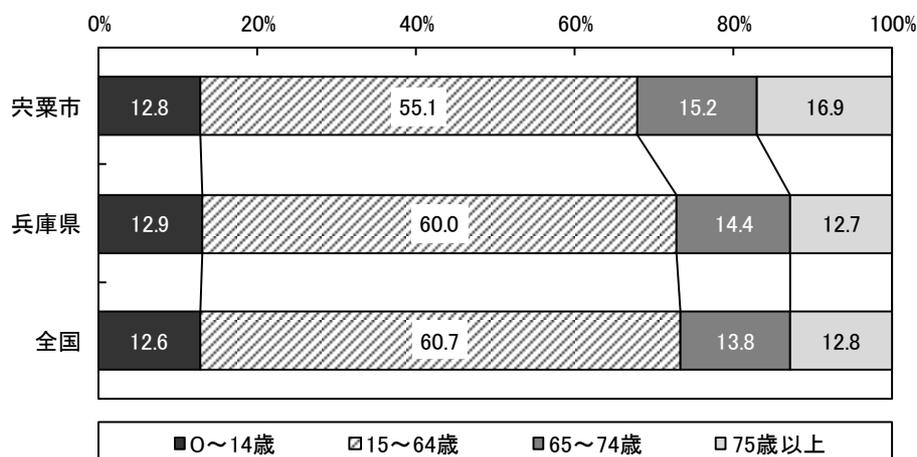


資料：第2次宍粟市総合計画、昭和60年から平成27年は国勢調査

2. 4区分別人口構成比

年齢4区分別の人口構成割合は、15～64歳は国・県よりも割合が少ない一方で、65～74歳及び75歳以上は割合が高くなっていることより、高齢化が進んでいることがわかります。

■宍粟市の人口構成割合（平成27年）

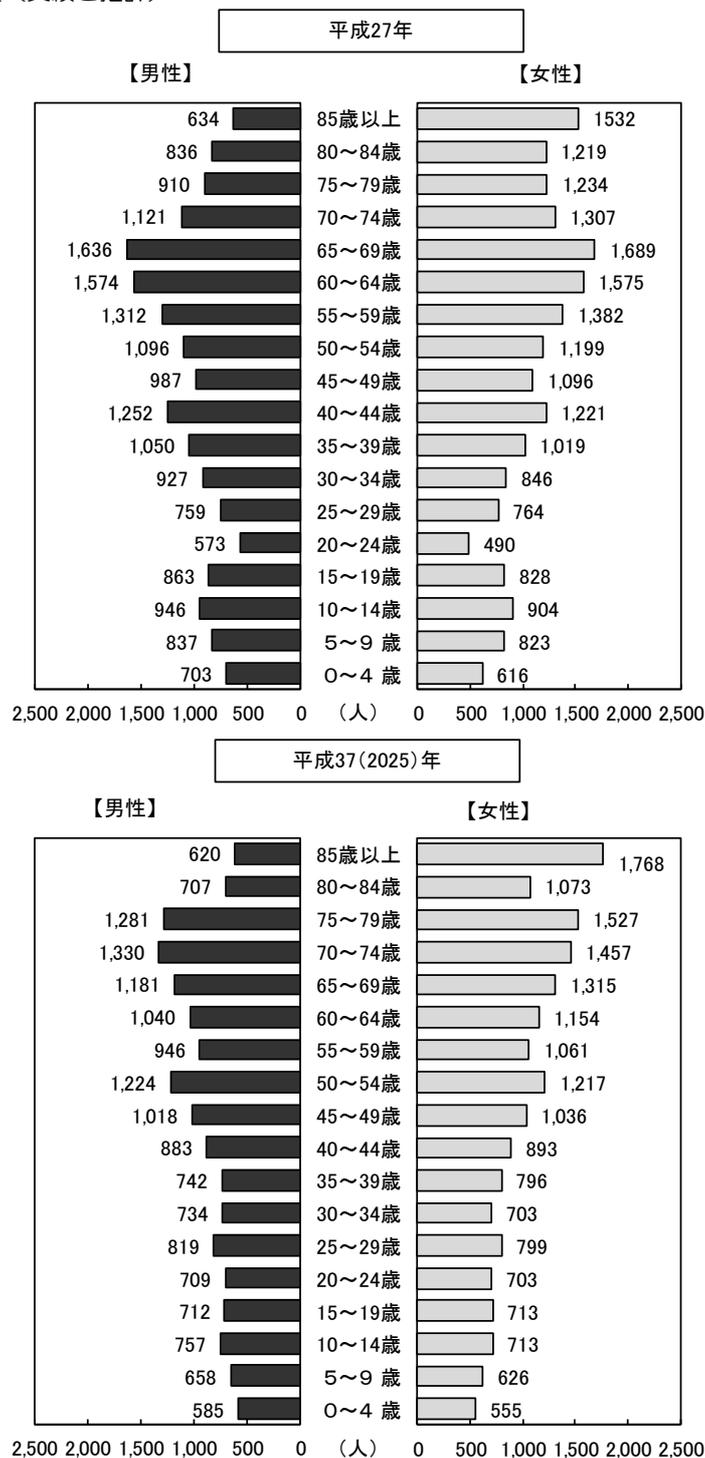


資料：国勢調査 ※年齢不詳除く

3. 人口ピラミッドの変遷

人口ピラミッドをみると、平成27年時点では、20～24歳にかけての若者の減少が顕著であり、60歳代まで、年齢が高くなるにつれて増加しています。平成37（2025）年の推計結果では、年齢層により人口の増減はありますが、おおむね全体的に減少が進み、若年層よりも高齢層が多い、ゆるやかな逆三角形となっています。

■人口ピラミッドの変遷（実績と推計）

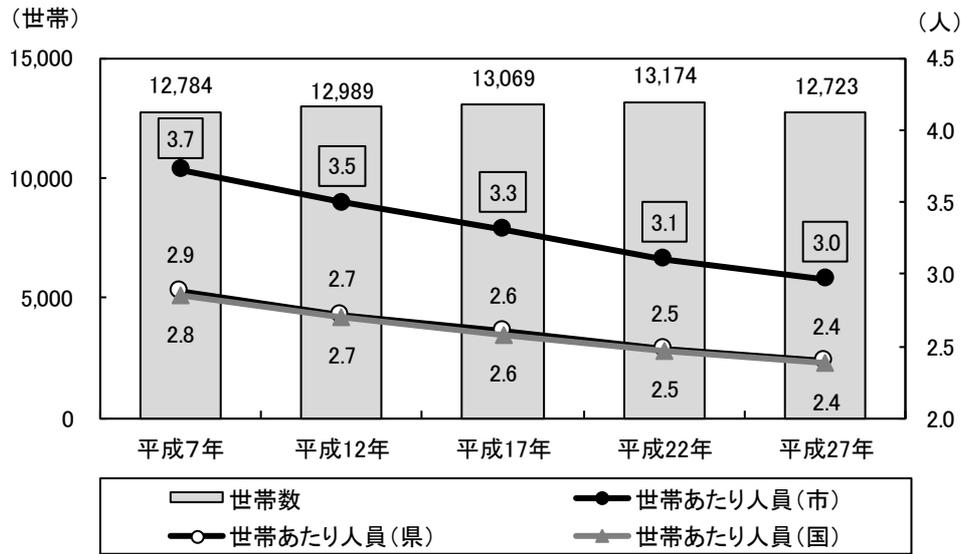


資料：第2次穴栗市総合計画

4. 宍粟市の世帯数及び世帯あたり人員の推移

世帯数は、平成7年から平成27年にかけておおむね横ばいの推移となっています。世帯あたり人員は平成27年において3.0人と、国・県よりも0.6人多くなっていますが、国・県と同様に減少傾向となっています。

■宍粟市の世帯数及び世帯あたり人員の推移

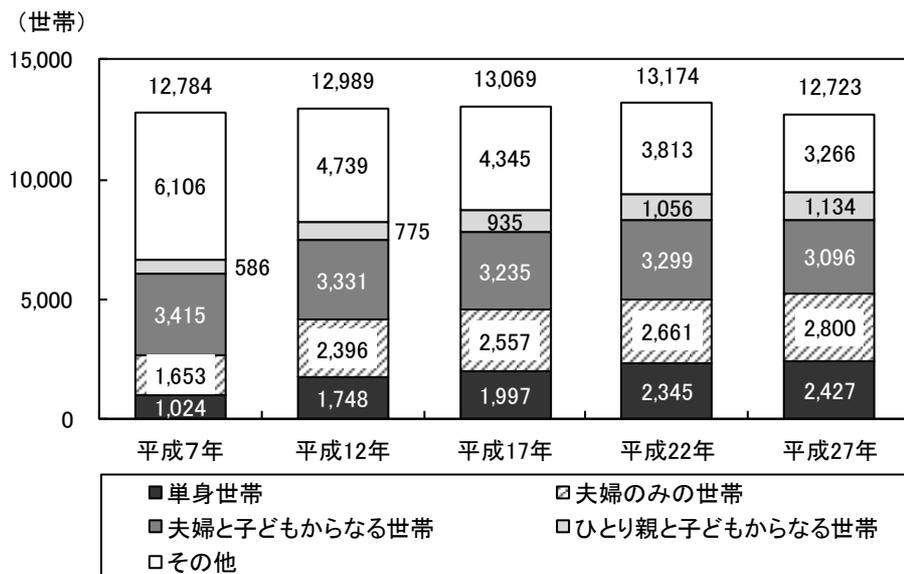


資料：国勢調査

5. 家族類型別世帯数の推移

単身世帯及び夫婦のみ世帯、ひとり親と子どもからなる世帯が増加している中、夫婦と子どもからなる世帯は減少傾向となっています。

■家族類型別世帯数の推移

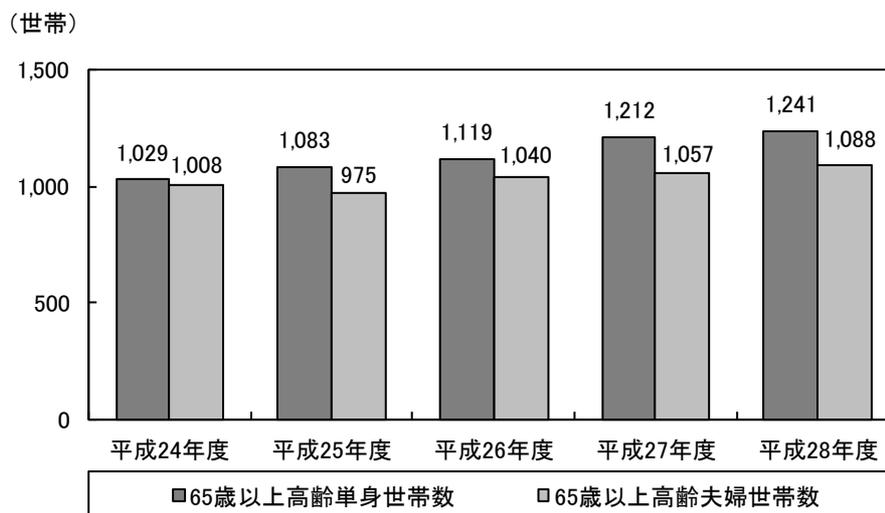


資料：国勢調査

6. 高齢者世帯数の推移

65歳以上高齢単身世帯数及び65歳以上高齢夫婦世帯数のどちらも増加傾向となっています。平成28年度において、65歳以上高齢単身世帯数は1,241世帯、65歳以上高齢夫婦世帯数は1,088世帯となっています。

■高齢者世帯数の推移

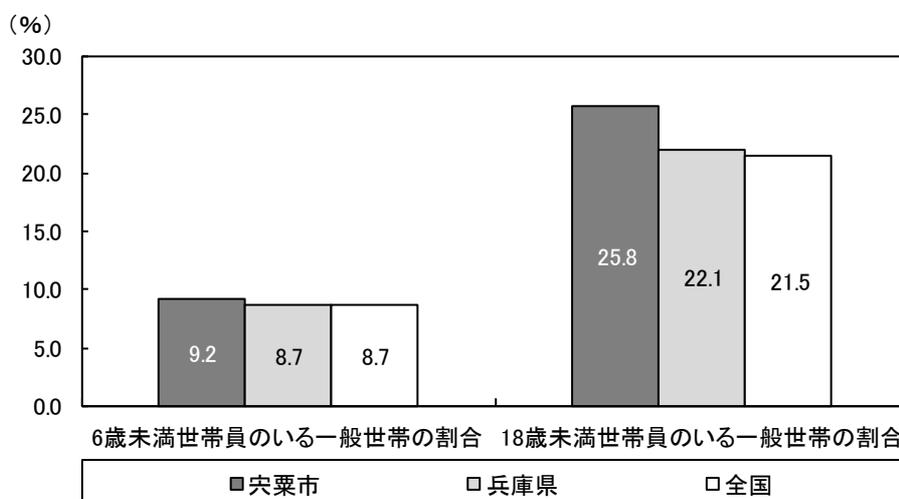


資料：高齢者実態把握事業（各年3月末時点）

7. 一般世帯総数に占める6歳未満及び18歳未満世帯員のいる一般世帯の割合

一般世帯総数に占める6歳未満世帯員のいる一般世帯の割合は、9.2%と国・県よりも高くなっています。また、一般世帯総数に占める18歳未満世帯員のいる一般世帯の割合は、25.8%と国・県よりも大きく上回っています。

■一般世帯総数に占める6歳未満及び18歳未満世帯員のいる一般世帯の割合（平成27年）

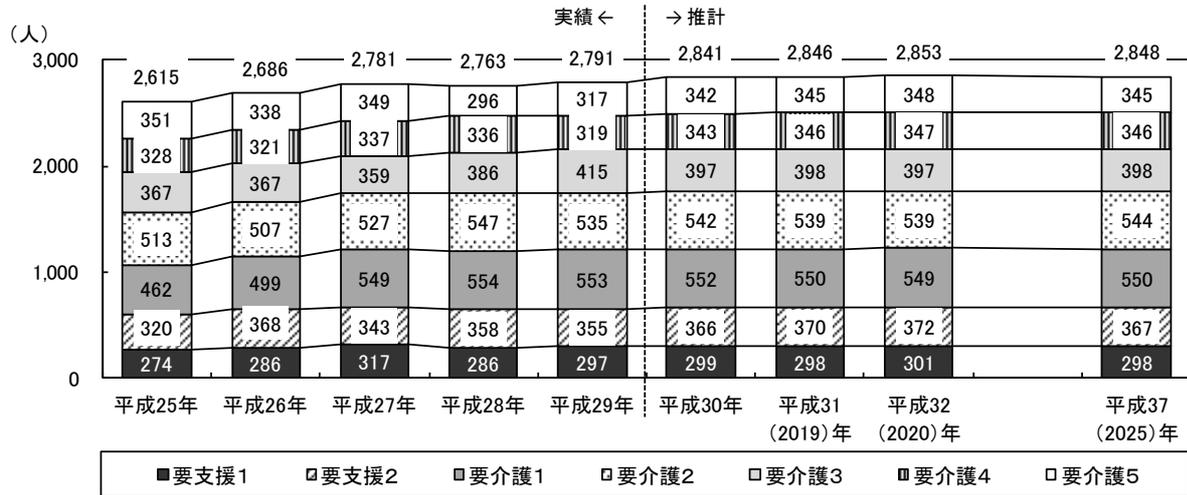


資料：国勢調査

8. 介護保険における要支援・要介護認定者数

要支援・要介護認定者数は、平成 25 年から平成 29 年にかけて、増加傾向となっています。平成 30 年以降もその傾向は継続しますが、平成 37 (2025) 年には、認定者数の増加は止まり、2,848 人になると予測されます。

■要支援・要介護認定者数の推移と推計

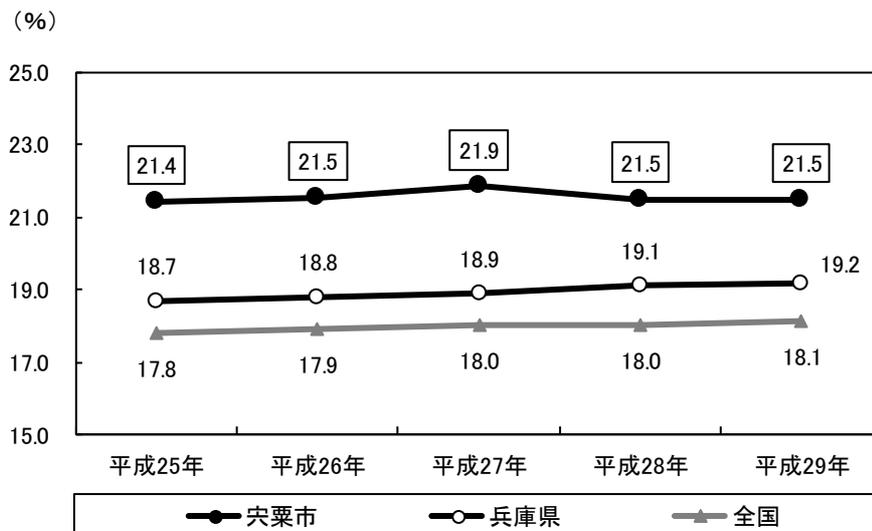


資料：宍粟市老人福祉計画及び第7期介護保険事業計画

9. 介護保険における認定率の推移

認定率は平成 25 年以降、国・県よりも高くなっていますが、国・県はわずかに上昇傾向である一方で、宍粟市はおおむね横ばいとなっています。

■要支援・要介護認定率の推移



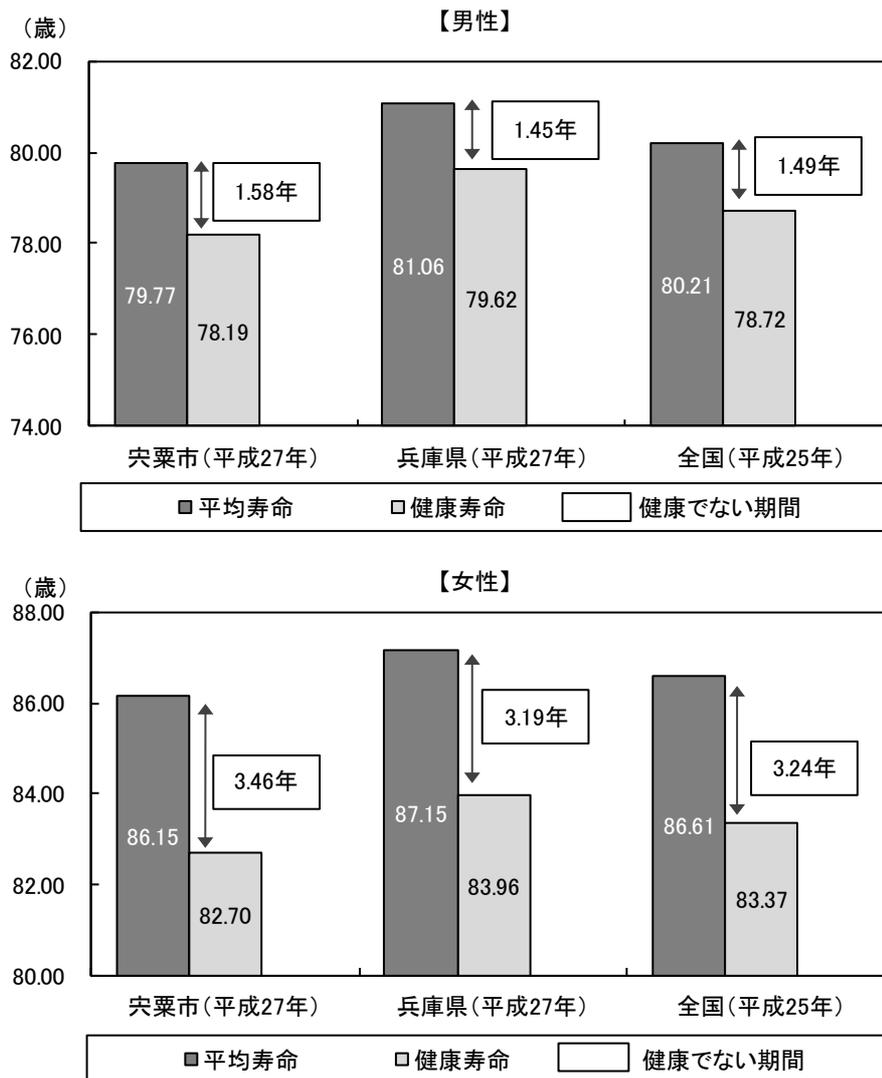
資料：介護保険事業状況報告（9月月報）

第2節 健康寿命*

男性の健康寿命は78.19歳で、健康でない期間は1.58年となっています。女性の健康寿命は86.15歳で、健康でない期間は3.46年となっています。

宍粟市の健康寿命は、男女ともに国・県よりも低く、健康でない期間は長くなっています。

■男女別にみる平均寿命・健康寿命



注 全国健康寿命は県の算出方法に合わせ、「日常生活動作が自立している期間の平均」を採用しています。

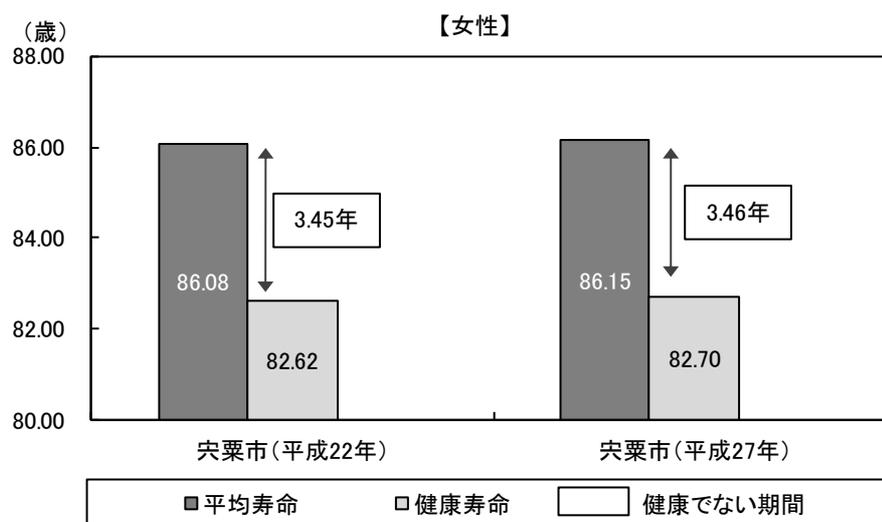
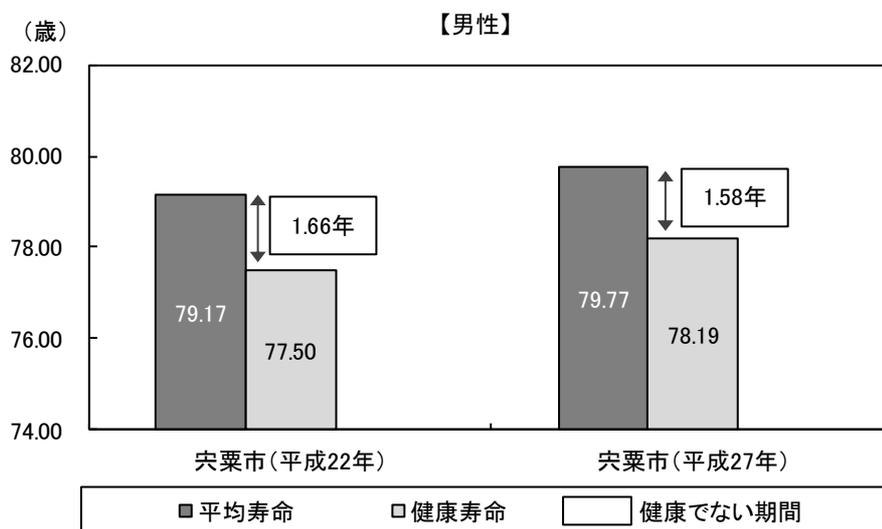
資料：全国平均寿命は簡易生命表、健康寿命は厚生労働省科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）分担報告書
兵庫県、宍粟市は兵庫県保健統計年報

※「健康寿命」：「健康に生活できる期間」のことをいいます。国では、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義されており、平均寿命と健康寿命の差は、日常生活に制限のある「健康ではない期間」を意味します。

参考：健康日本 21（第二次）の推進に関する参考資料

宍粟市の平成 22 年と平成 27 年の平均寿命・健康寿命を比較すると、男女ともに平均寿命・健康寿命は、平成 27 年は平成 22 年より延びています。男性は、健康でない期間も 0.08 歳短くなっています。

■男女別にみる宍粟市の平均寿命・健康寿命



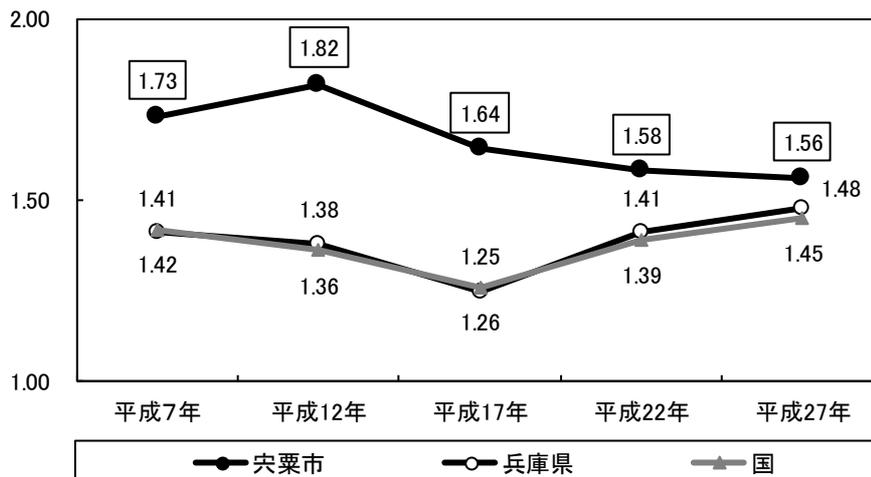
資料：兵庫県保健統計年報

第3節 出生に関する統計

1. 合計特殊出生率

宍粟市の合計特殊出生率は、国・県よりも高い水準で推移しています。宍粟市は平成12年以降減少傾向となっている一方で、国・県は平成17年以降増加傾向と、宍粟市の値は国・県の値に近くなっています。

■合計特殊出生率の推移

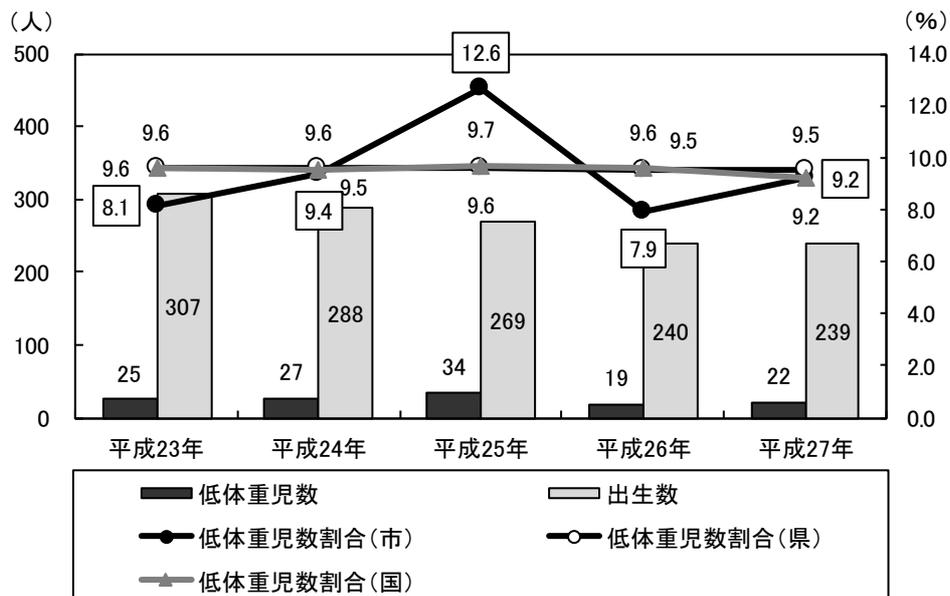


資料：兵庫県保健統計年報

2. 低体重児出生数

宍粟市の低体重児出生数は、平成23年以降、おおむね横ばいで推移しています。低体重児出生割合は、平成25年で国・県よりも大きく上回っていましたが、平成27年ではおおむね同じ割合となっています。

■低体重児出生数及び出生割合の推移



資料：全国・兵庫県は人口動態統計
 宍粟市は兵庫県保健統計年報

第4節 死亡に関する統計

1. 死因別死亡数の状況

死因別死亡数は、平成28年では「悪性新生物」が118件と最も多く、次いで「心疾患（高血圧性を除く）」が105件、「肺炎」が62件となっています。国・県と比較すると、「悪性新生物」の割合は低い一方で、「心疾患（高血圧性を除く）」「肺炎」の割合は高くなっています。

■主要死因別死亡数と割合（平成28年）

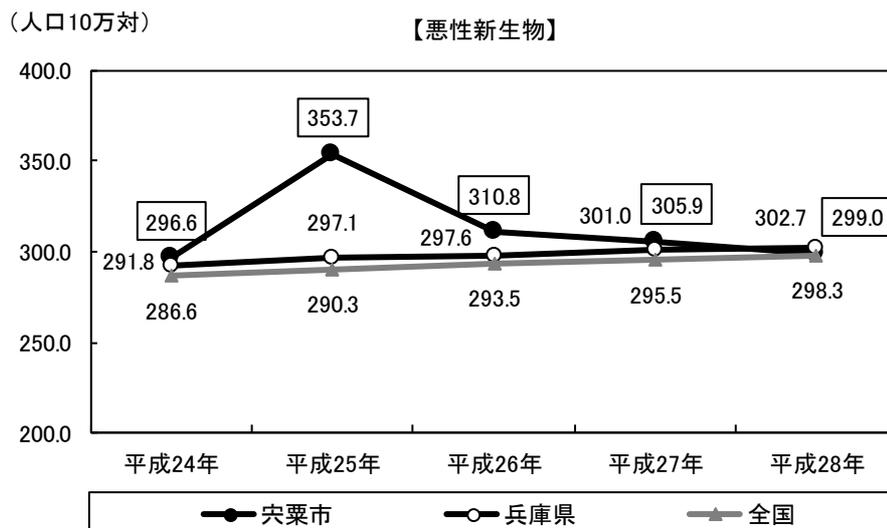
死因	死亡数（人）			割合（％）		
	宍粟市	兵庫県	全国	宍粟市	兵庫県	全国
悪性新生物	118	16,461	372,986	22.2	29.7	28.5
脳血管疾患	54	4,351	109,320	10.2	7.9	8.4
心疾患（高血圧性を除く）	105	8,326	198,006	19.8	15.0	15.1
肺炎	62	4,692	119,300	11.7	8.5	9.1
不慮の事故	18	1,715	38,306	3.4	3.1	2.9
腎不全	13	1,131	24,612	2.4	2.0	1.9
自殺	12	892	21,017	2.3	1.6	1.6
老衰	21	3,697	92,806	4.0	6.7	7.1
糖尿病	8	617	13,480	1.5	1.1	1.0
肝疾患	0	726	15,773	0.0	1.3	1.2
その他	120	12,814	302,142	22.6	23.1	23.1
総数	531	55,422	1,307,748			

資料：全国・兵庫県は人口動態統計、宍粟市は兵庫県保健統計年報

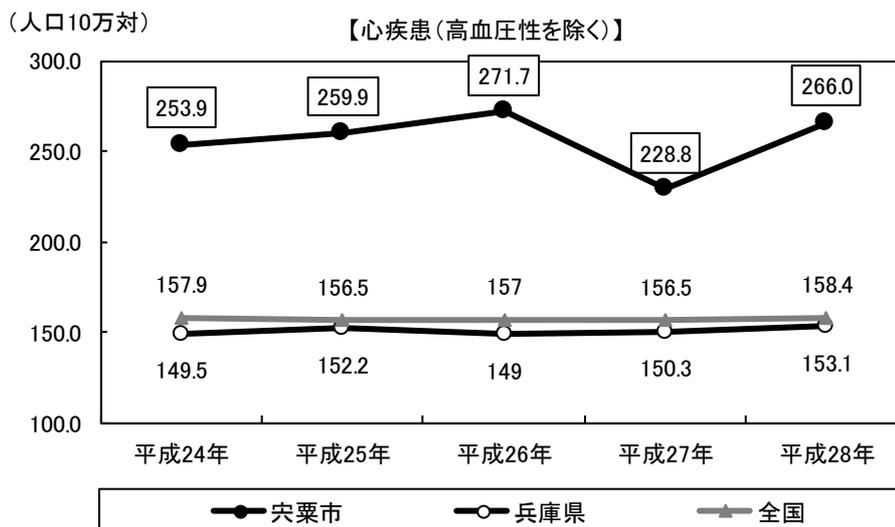
2. 三大死因別死亡率

悪性新生物の死亡率は、平成 25 年以降減少傾向となっています。心疾患（高血圧性を除く）及び脳血管疾患は、平成 27 年を除きおおむね横ばいとなっています。国・県と比較すると、悪性新生物は、国・県よりも上回って推移していましたが、平成 28 年でほぼ同数となっています。心疾患（高血圧性を除く）及び脳血管疾患は、国・県よりも大きく上回って推移しています。

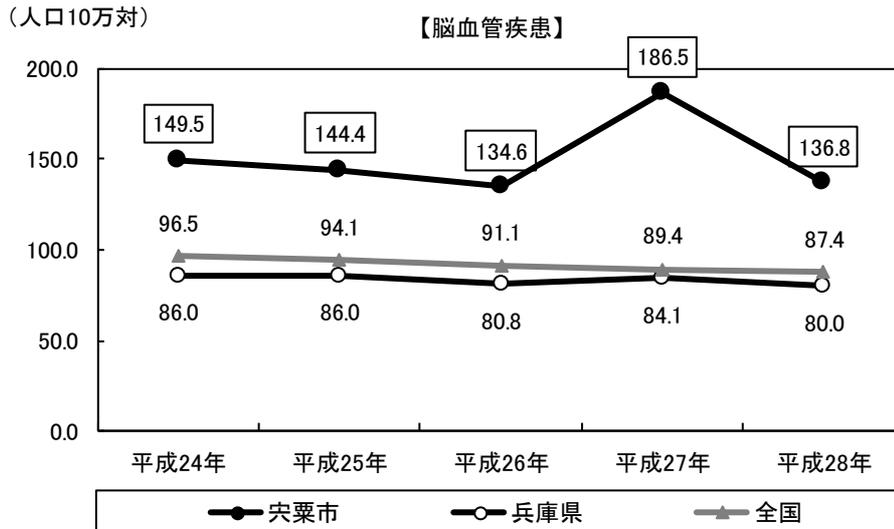
■三大死因別死亡率の推移



資料：全国・兵庫県は人口動態統計、宍粟市は兵庫県保健統計年報及び住民基本台帳（各年 10 月 1 日現在）



資料：全国・兵庫県は人口動態統計、宍粟市は兵庫県保健統計年報及び住民基本台帳（各年 10 月 1 日現在）



資料：全国・兵庫県は人口動態統計、宍粟市は兵庫県保健統計年報及び住民基本台帳（各年 10月1日現在）

3. 悪性新生物（がん）死亡の状況

悪性新生物（がん）の死亡数は、平成28年では「肺がん」が23件と最も多く、次いで「胃がん」「大腸がん」がそれぞれ15件ずつとなっています。死亡の割合は、「前立腺がん」「乳がん」は国・県よりも低くなっていますが、その他は国・県とおおむね同じ割合となっています。

■悪性新生物（がん）死亡の状況（平成28年）

死因	死亡数（人）			割合（％）		
	宍粟市	兵庫県	全国	宍粟市	兵庫県	全国
肺がん	23	3,343	73,838	19.5	20.3	19.8
胃がん	15	2,075	45,531	12.7	12.6	12.2
大腸がん	15	2,047	50,099	12.7	12.4	13.4
前立腺がん	2	428	11,803	1.7	2.6	3.2
乳がん	2	581	14,132	1.7	3.5	3.8
子宮頸がん	2	287	6,345	1.7	1.7	1.7
その他	59	7,700	171,238	50.0	46.8	45.9
総数	118	16,461	372,986			

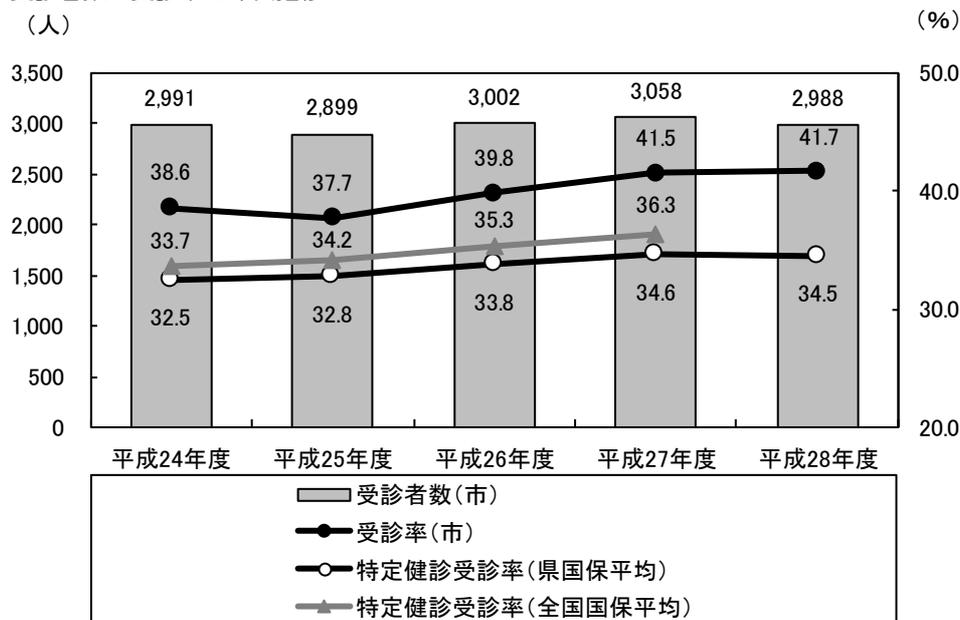
資料：全国・兵庫県は人口動態統計、宍粟市は兵庫県保健統計年報

第5節 各種健（検）診の実施状況

1. 宍粟市国保特定健診受診者数

宍粟市国民保険加入者のうち、特定健診受診者は、平成24年度以降、3,000人前後で推移しています。宍粟市の受診率は国・県よりも上回って推移しており、平成25年度以降増加しています。平成28年度では41.7%と、県国保平均受診率よりも、7.2ポイント上回っています。

■ 特定健診の受診者数・受診率の年次推移
(人)



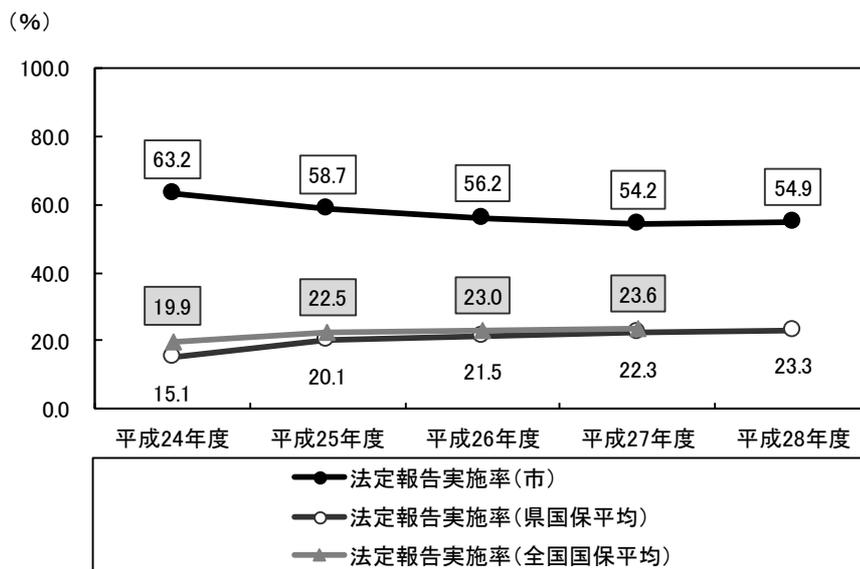
注 特定健診受診率（全国国保平均）は平成27年度までの公表の為、平成28年度は掲載していません。

資料：特定健診法定報告値

2. 特定保健指導実施率

特定保健指導法定報告実施率は、国・県と比較すると、大きく上回って推移しており、特定健康診査等実施計画の当初目標である60%に近い数値を維持しています。平成28年度では54.9%と、県よりも31.6ポイント高くなっています。

■ 特定保健指導実施率の年次推移



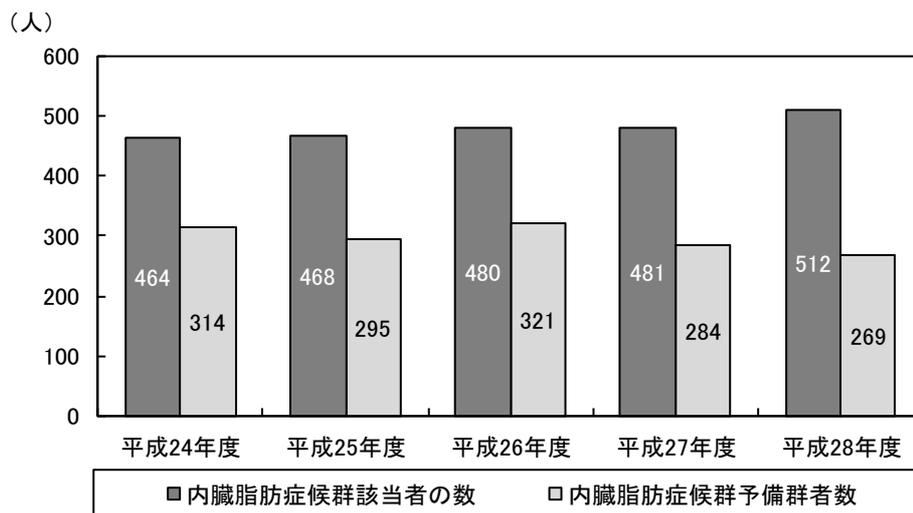
注 法定報告実施率(全国国保平均)は平成27年度までの公表の為、平成28年度は掲載していません。

資料：特定健診法定報告値

3. 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）該当者、予備群該当者の割合

特定健診受診者の内臓脂肪症候群該当者数は、平成 24 年度以降、増加傾向となっています。内臓脂肪症候群予備群者数は平成 26 年度以降減少しています。

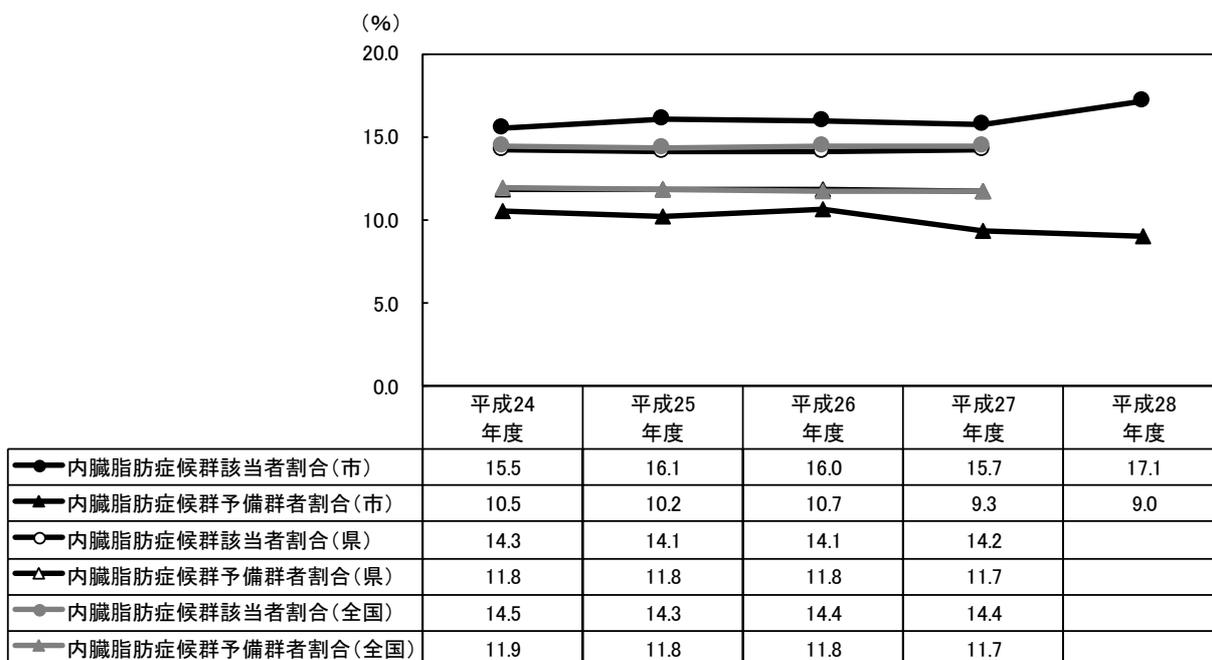
■内臓脂肪症候群該当者数、予備群該当者数の年次推移



資料：特定健診法定報告値

また、内臓脂肪症候群該当者の割合は平成 28 年度で 17.1%、内臓脂肪症候群予備群者の割合は 9.0% となっています。平成 27 年度においては、国・県よりも内臓脂肪症候群該当者の割合は高い一方で、予備群該当者の割合は低くなっています。

■内臓脂肪症候群該当者、予備群該当者の割合



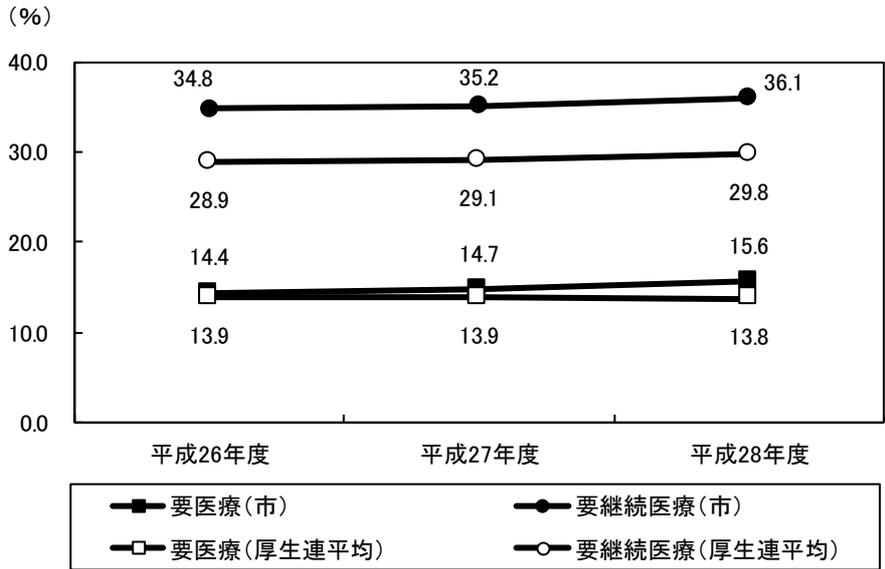
注 全国・兵庫県は平成 27 年度までの公表のため、平成 28 年度は掲載していません。

資料：特定健診法定報告値

4. 特定健診結果からみる高血圧出現状況

特定健診結果からみる高血圧出現状況は、要医療、要継続医療ともに増加傾向となっています。また、要医療、要継続医療ともに厚生連の平均を上回っています。

■高血圧出現状況

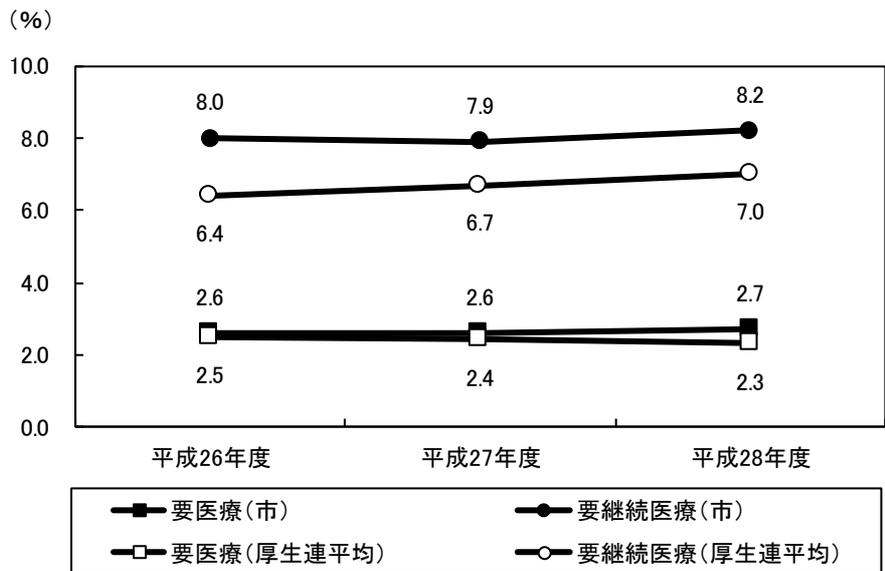


資料：特定健診委託業者（厚生連）「社保被扶養者を含む穴栗市特定健診会場での受診者集計」

5. 特定健診結果からみる糖尿病出現状況

特定健診結果からみる糖尿病出現状況は、要医療、要継続医療ともに増加傾向となっています。また、要医療、要継続医療ともに厚生連の平均を上回っています。

■糖尿病出現状況

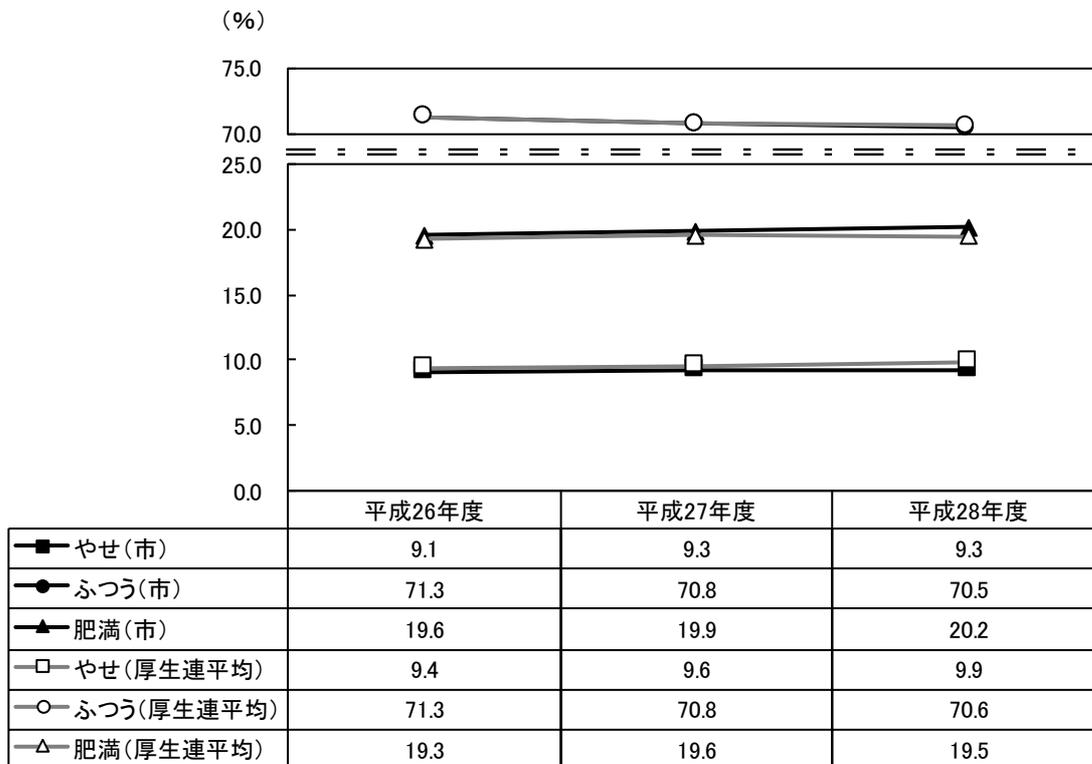


資料：特定健診委託業者（厚生連）「社保被扶養者を含む穴栗市特定健診会場での受診者集計」

6. 特定健診結果からみる肥満出現状況

特定健診結果からみる宍粟市の肥満の割合は、微増傾向となっています。肥満の厚生連平均もほぼ同じ割合で増加しています。

■肥満出現状況



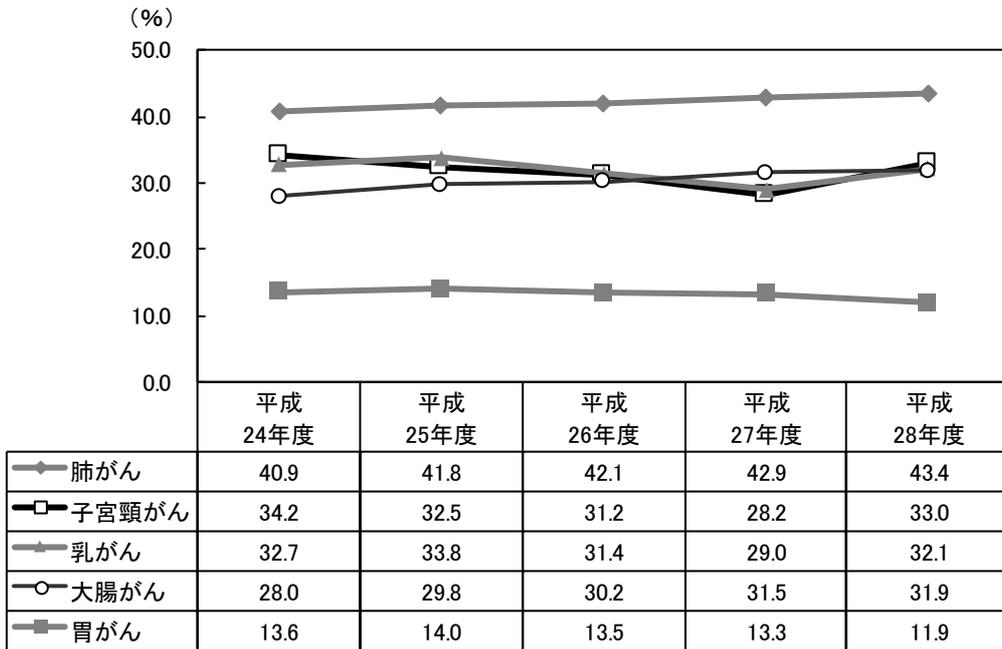
資料：特定健診委託業者（厚生連）「社保被扶養者を含む宍粟市特定健診会場での受診者集計」

7. 各種がん検診の受診率の推移

各種がん検診の受診率は、肺がん検診が他のがん検診と比較して高く、平成 24 年度以降増加を続け、平成 28 年度では 43.4%となっています。大腸がん検診は、平成 24 年度以降増加を続けており、平成 28 年度では 31.9%と、肺がんに次いで高くなっています。乳がん検診、子宮頸がん検診はほぼ横ばいとなっています。胃がん検診は、他のがん検診と比較して低く、ほぼ横ばいの推移となっていますが、平成 28 年度で減少し、11.9%となっています。

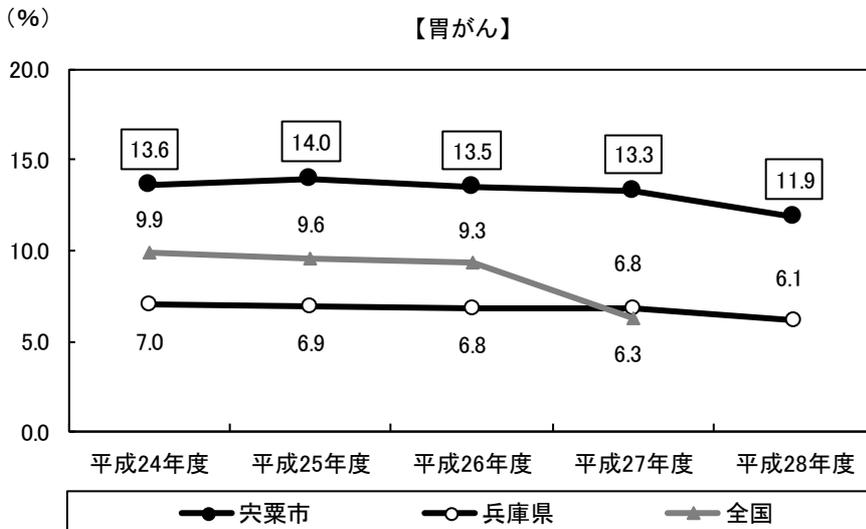
各種がん検診の受診率は、いずれもおおむね国・県よりも高い割合で推移しています。

■各種がん検診の受診率の年次推移



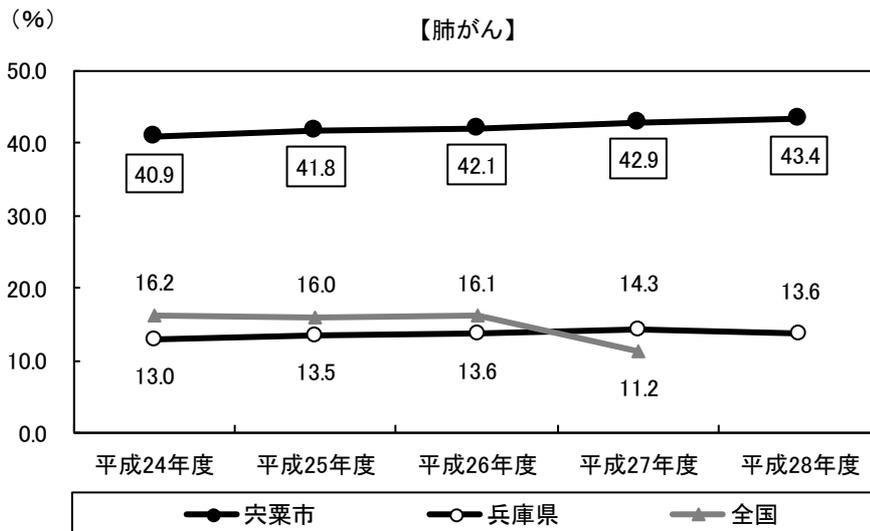
資料：兵庫県疾病対策課まとめ

■国・県と比較した各種がん検診の年次推移



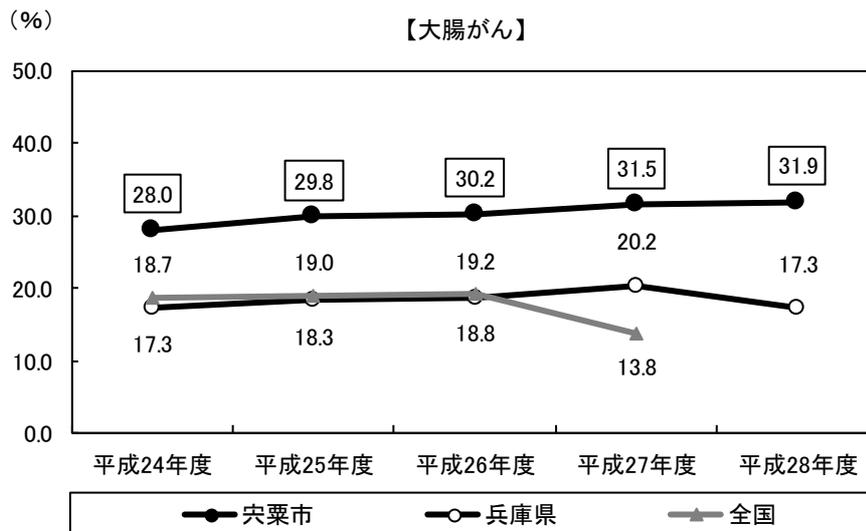
注 全国・兵庫県は平成 27 年度までの公表のため、平成 28 年度は掲載していません。

資料：全国は地域保健健康増進事業報告、兵庫県・宍粟市は兵庫県疾病対策課まとめ



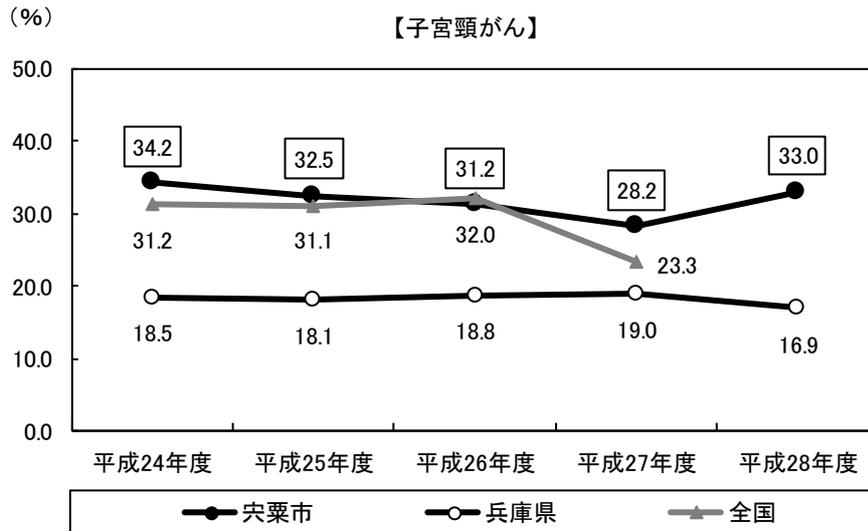
注 全国・兵庫県は平成27年度までの公表のため、平成28年度は掲載していません。

資料：全国は地域保健健康増進事業報告、兵庫県・宍粟市は兵庫県疾病対策課まとめ

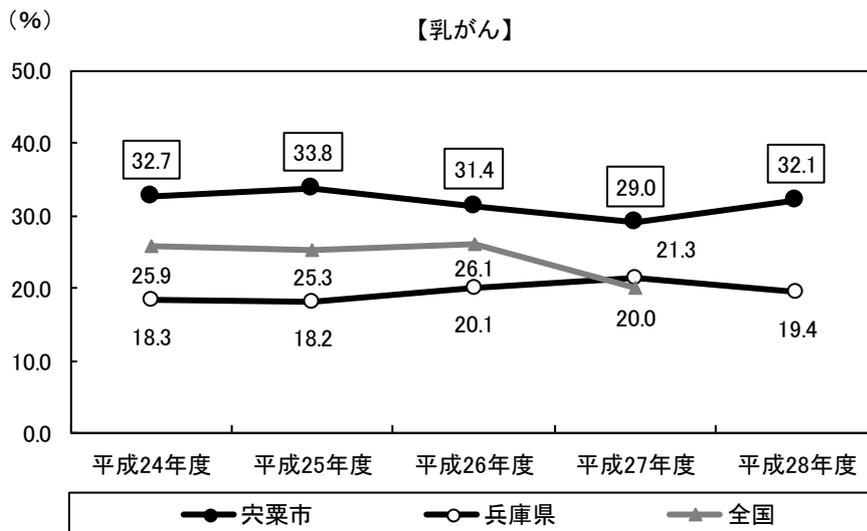


注 全国・兵庫県は平成27年度までの公表のため、平成28年度は掲載していません。

資料：全国は地域保健健康増進事業報告、兵庫県・宍粟市は兵庫県疾病対策課まとめ



注 全国・兵庫県は平成27年度までの公表のため、平成28年度は掲載していません。
 資料：全国は地域保健健康増進事業報告、兵庫県・宍粟市は兵庫県疾病対策課まとめ



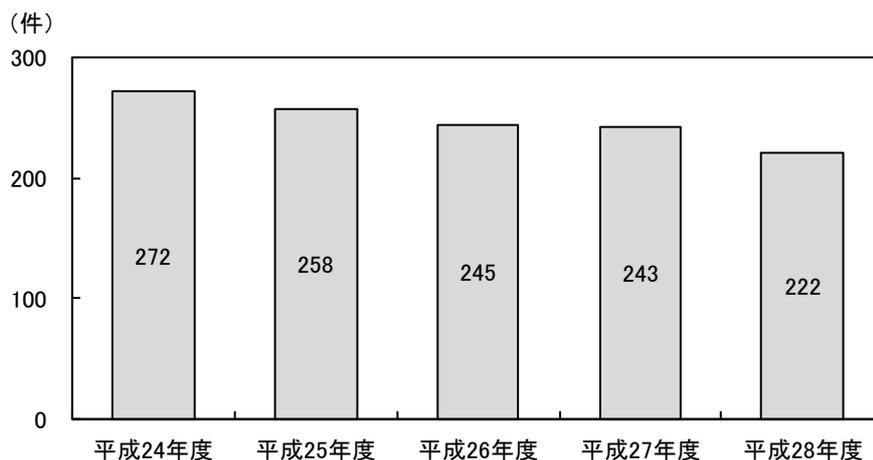
注 全国・兵庫県は平成27年度までの公表のため、平成28年度は掲載していません。
 資料：全国は地域保健健康増進事業報告、兵庫県・宍粟市は兵庫県疾病対策課まとめ

第6節 母子保健の状況

1. 妊娠の届出数（母子健康手帳の交付数）

妊娠の届出数は、平成24年度以降減少傾向であり、平成28年度では222件となっています。

■妊娠の届出数（母子健康手帳の交付数）の年次推移

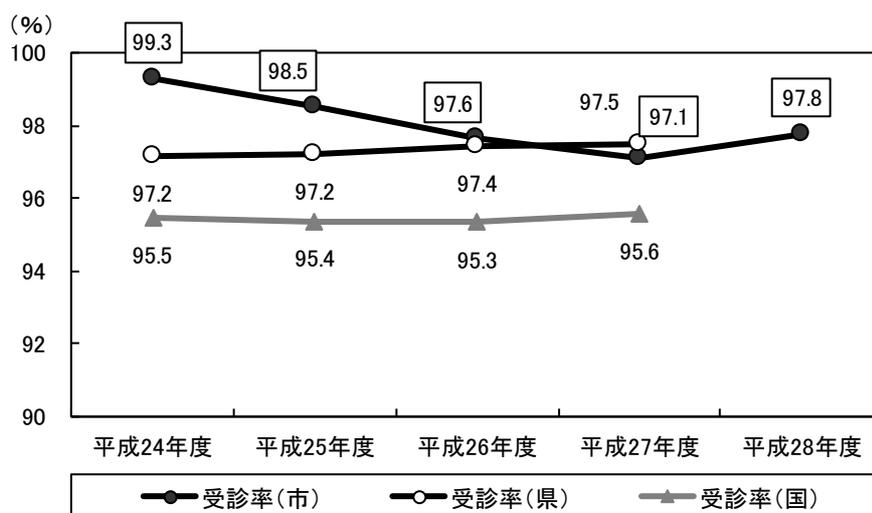


資料：地域保健・健康増進事業報告

2. 乳幼児健診等受診率

3か月児健診の受診率は、国・県よりも上回っていましたが、平成24年度以降減少傾向となっており、平成27年度では県を下回っています。平成28年度では受診率は増加し、97.8%となっています。

■3か月児健診の受診率の年次推移

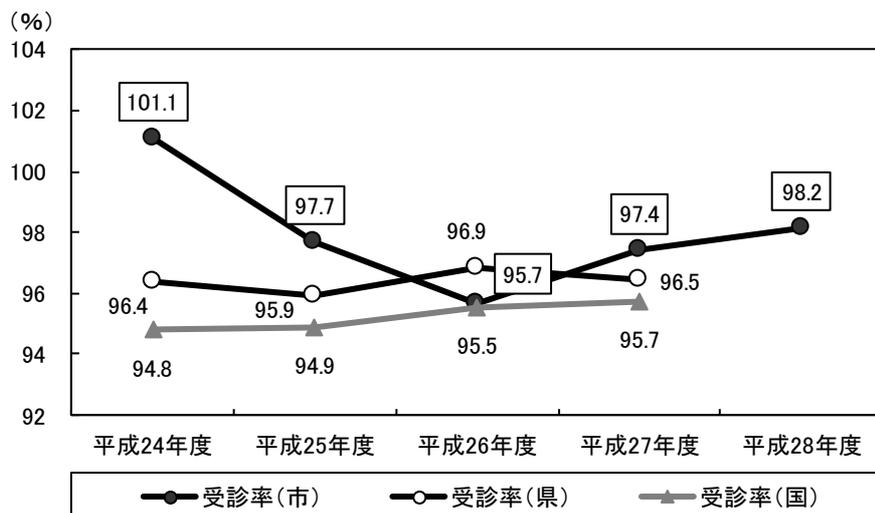


注 全国・兵庫県は平成27年度までの公表のため、平成28年度は掲載していません。

資料：全国・兵庫県は地域保健・健康増進事業報告、宍粟市は市町乳幼児健診に係る実績報告

1歳6か月健診の受診率は平成24年度以降減少傾向となっていました。平成26年度以降は増加しています。平成27年度では、国・県よりも上回り、平成28年度では98.2%となっています。

■ 1歳6か月児健診の受診率の年次推移

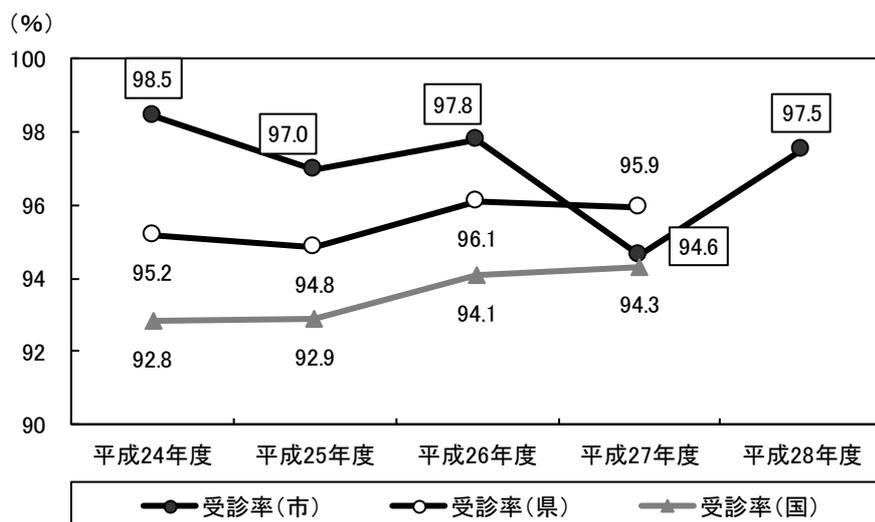


注 全国・兵庫県は平成27年度までの公表のため、平成28年度は掲載していません。

資料：全国・兵庫県は地域保健・健康増進事業報告、宍粟市は市町乳幼児健診に係る実績報告

3歳児健診の受診率は、平成27年度のみ減少していますが、おおむね国・県よりも上回っています。

■ 3歳児健診の受診率の年次推移



注 全国・兵庫県は平成27年度までの公表のため、平成28年度は掲載していません。

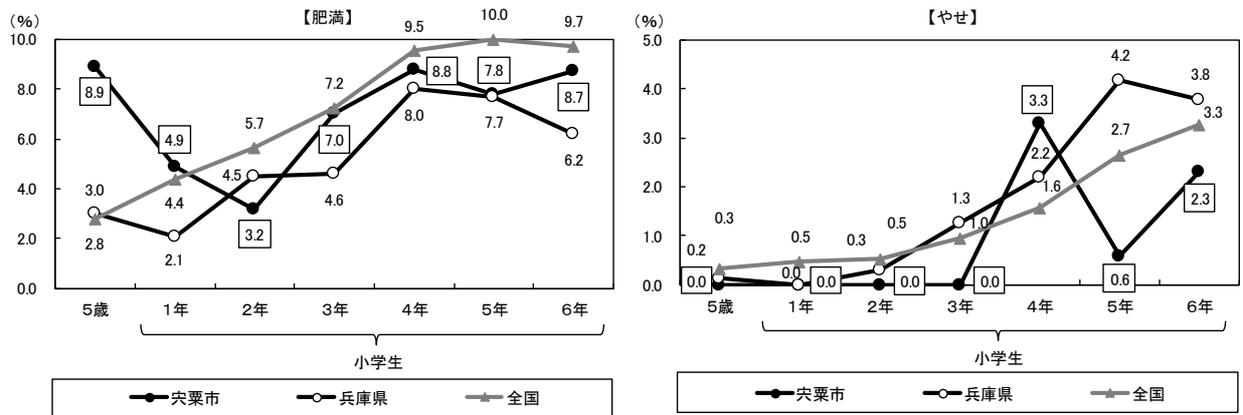
資料：全国・兵庫県は地域保健・健康増進事業報告、宍粟市は市町乳幼児健診に係る実績報告

3. 子どもの肥満・やせの状況

男子の肥満・やせの状況をみると、平成 29 年度は肥満傾向にある児童・生徒の割合は、5 歳児、小学 1 年生を除き、国を下回っており、やせ傾向にある児童・生徒の割合は、小学 4 年生を除き、国・県を下回っています。

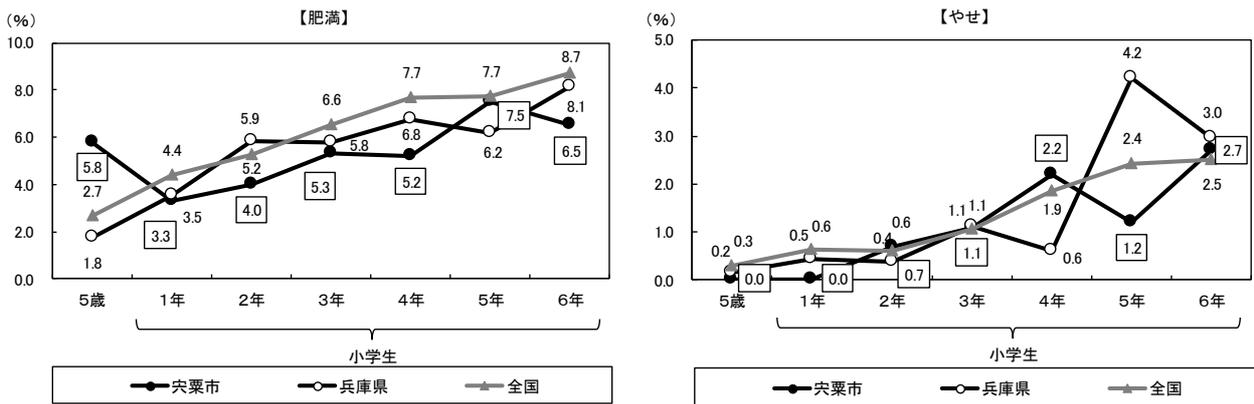
女子の肥満・やせの状況をみると、肥満傾向にある児童・生徒の割合は、5 歳児は国・県を上回っていますが、学年を追うごとにおおむね増加し、国・県と同様の傾向となっています。やせ傾向にある児童・生徒の割合は、小学 5 年生を除き、おおむね国と同様の傾向となっています。

■男子の肥満・やせの状況（平成 29 年度）



資料：全国・兵庫県は学校保健統計調査（速報値）、宍粟市は龍野健康福祉事務所健康管理課

■女子の肥満・やせの状況（平成 29 年度）



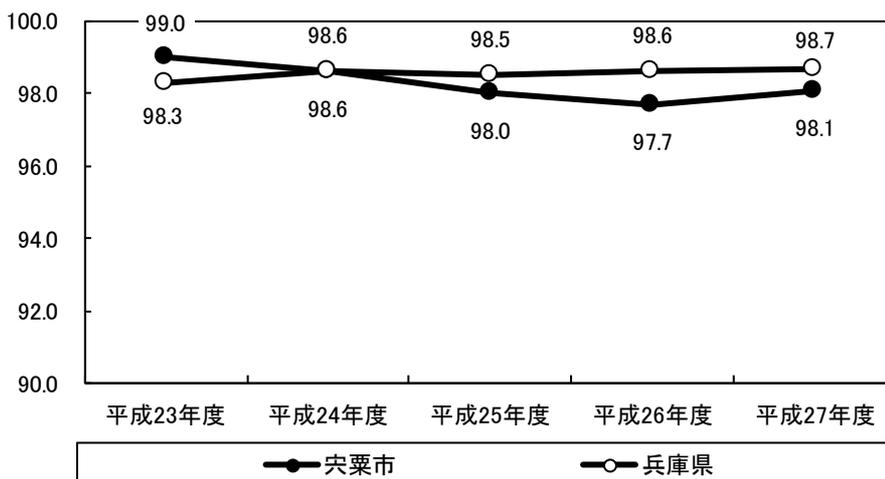
資料：全国・兵庫県は学校保健統計調査（速報値）、宍粟市は龍野健康福祉事務所健康管理課

4. 子どもの歯科健診の状況

1歳6か月児健診でう歯のない子どもの割合は、平成23年度は県よりも高い割合となっていました。県では平成23年度以降、おおむね横ばいとなっている一方で、宍粟市は平成23年度から平成26年度にかけて減少し、わずかに県よりも低い割合となっています。

■ 1歳6か月児健診でう歯のない子どもの割合

(%)

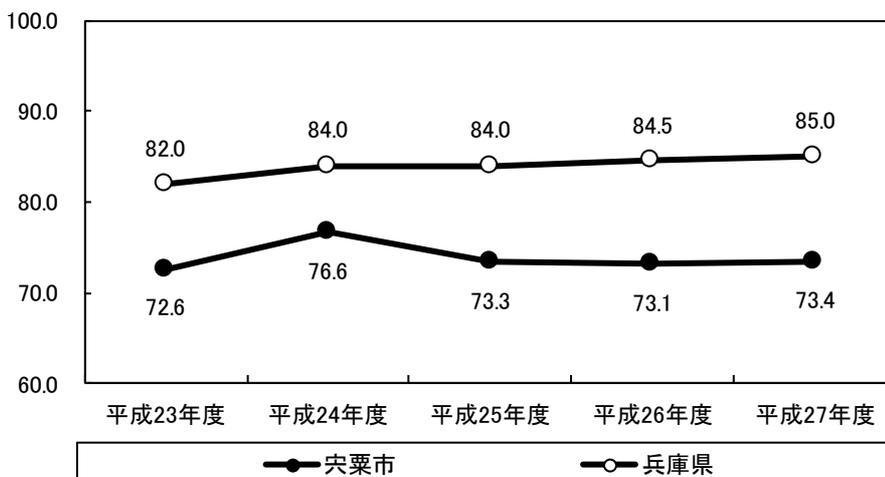


資料：兵庫県 乳児・1歳6ヶ月・3歳児歯科健康診査実績報告

3歳児健診でう歯のない子どもの割合は、県では平成23年度以降、ゆるやかに増加傾向となっている一方で、宍粟市は県よりも低く、平成25年度以降は、73%台で推移しています。

■ 3歳児健診でう歯のない子どもの割合

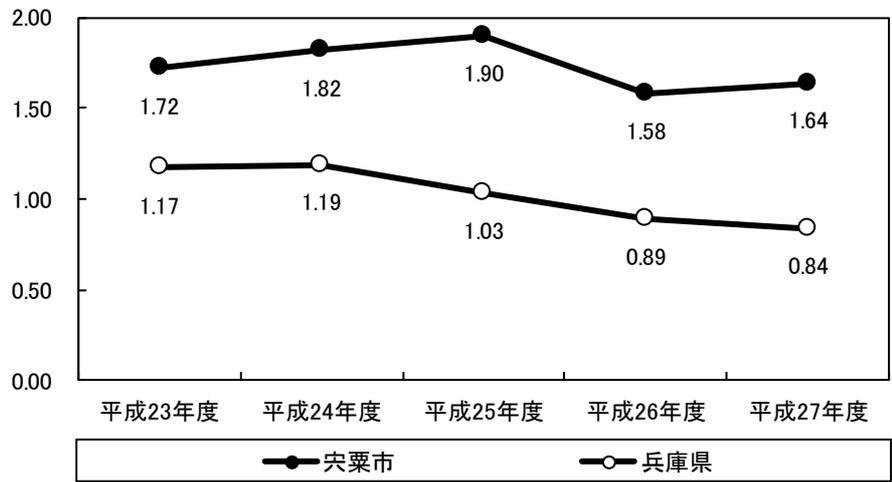
(%)



資料：兵庫県 乳児・1歳6ヶ月・3歳児歯科健康診査実績報告

12歳児の1人あたりのう歯の本数は、県では平成23年度以降、減少傾向となっています。宍粟市では、平成27年度で1.64となっていますが、県平均よりも0.8本多くなっています。

■12歳児の1人あたりのう歯の本数（受診者平均）
（本）



資料：西播磨地区1歳6ヶ月、3歳児、保育所、幼稚園及び学校における歯科健診結果まとめ